

まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生交付金事業検証シート

| | | | | |
|-----------------------|--------------------------------|---|------|--------------|
| 事業名 | 空き店舗を活用した友好都市農産物の直販による商店街活性化事業 | | 担当課名 | 地域経済課 |
| 交付金の種類 | 地方創生加速化交付金 | | | |
| まち・ひと・しごと総合戦略における位置づけ | NO | 基本目標 | | |
| | 2 | 地域資源を活用した取組となんでも近い泉大津市の強みを活かし、それらを積極的に情報発信することにより、様々な交流を生み出す。 | | |
| | NO | 施策と取組内容 | NO | 施策と取組内容 |
| | 1 | 泉大津らしさを活かした交流を促す | 2 | 泉大津の魅力を広く伝える |

【基本目標の数値目標】

| 指標 | 現状値 | 目標値 | 28年度実績値 |
|-----------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 市内の鉄道駅における非定期利用者の1日あたりの乗降客数 | H25:14,121人 | H31:15,400人 | H27:14,935人 |
| 市外の人に自慢できる資源があると思う市民の割合 | H26:27.1% | H31:35.0% | H28:29.2% |
| | | | |

【事業の概要】

| |
|--|
| (事業の目的・趣旨) |
| 来街者の減少と店主の高齢化、店舗の減少などにより、商店街は年々空き店舗が増えていく状況にある。そこで、商店街の空き店舗を活用し、高齢者の買い物利便性の向上につながる事業を実施し、地域住民から求められている商店街の地域コミュニティの核としての機能を充実させるとともに、各店舗の集客力を向上させ、地域商業の活性化につなげる。 |
| (事業概要等) |
| 泉大津市の友好都市である和歌山県日高川町と連携し、商店街の空き店舗を活用して週2日、同町の特産品である産地直送の野菜・果実などを販売する。 |

【事業費】

| 項目 | H28決算額 | H28地方創生交付金額 | H29予算額 | H29地方創生交付金額 |
|--------------------|--------|-------------|--------|-------------|
| 金額(単位:千円) | 3,536 | 1,686 | 4,164 | 0 |
| 平成28年度事業費内訳(単位:千円) | 費目 | | | 金額 |
| | 賃借料 | | | 1,361 |
| | 広告宣伝費 | | | 1,357 |
| | 雑役務費 | | | 490 |
| | 業務委託費 | | | 328 |

【事業の重要業績評価指標(KPI)】

| 重要業績評価指標(KPI) | 現状値 | 目標値 | 28年度実績値 |
|-------------------------|-----------|------------|------------|
| 産地直送販売店舗の来店者数(1日あたり) | — | 100人 | 89人 |
| 市外の人に自慢できる資源があると思う市民の割合 | H26:27.1% | H:28:31.0% | H:28:29.2% |
| | | | |

(成果の概要)

| |
|--|
| 和歌山県日高川町の特産品については、地域住民、とりわけ高齢者からの評判がよく、昨年度に比べ来店者数も増えてきている。また、本事業の波及効果として、商店街の各店舗で新規顧客を獲得できているなど、徐々にではあるが成果はでてきている。 |
|--|

【今後の方向性】

| | |
|-----------------|--|
| 課題(問題点)及び今後の方向性 | 本事業による集客効果が見込まれることから、本事業の実施に合わせて商店街各店舗が売り出しセールを実施する等、相乗効果により商店街全体の活性化を図り、さらなる来街者数を増やすといった取り組みが必要となる。また、空き店舗活用については、空き曜日にさらに集客できるイベントを実施する等、商店街へ人を呼ぶための工夫を継続していくことが重要である。本市商業の振興のため、必要な事業については申請に基づき補助金を交付することで、商業団体等の資金的な支援を実施し、市内商業の振興・発展を図る。 |
|-----------------|--|